

令和5年度

部局別予算の概要

目 次

1. 部局別予算の概要

知 事 公 室	・ ・ ・ ・ ・	1
総 合 企 画 部	・ ・ ・ ・ ・	11
総 務 部	・ ・ ・ ・ ・	27
文 化 ス ポ ー ツ 部	・ ・ ・ ・ ・	43
琵琶湖環境部	・ ・ ・ ・ ・	63
健康医療福祉部	・ ・ ・ ・ ・	87
商工観光労働部	・ ・ ・ ・ ・	125
農政水産部	・ ・ ・ ・ ・	151
土木交通部	・ ・ ・ ・ ・	183
警察本部	・ ・ ・ ・ ・	203
教育委員会	・ ・ ・ ・ ・	211
企業庁	・ ・ ・ ・ ・	241
病院事業庁	・ ・ ・ ・ ・	247

2. 事業別予定箇所一覧表（公共事業）・・・257

記号の表記について

「国」	… 国庫支出金	「繰」	… 繰入金
「分」	… 分担金及び負担金	「越」	… 繰越金
「使」	… 使用料及び手数料	「諸」	… 諸収入
「財」	… 財産収入	「起」	… 県債
「寄」	… 寄附金	「○」	… 一般財源
「挑」	… 施策チャレンジ・活性化枠による事業	「感」	… 新型コロナウイルス感染症対策による事業
「長」	… 長寿命化等推進特別枠による事業	「新」	… 新規項目

警察本部予算の概要

令和5年度 警察本部 予算額

1 一般会計

(1) 総額

単位 千円

区 分	本 年 度 予 算 額 A	左 の 財 源 内 訳									前 年 度 予 算 額 B	対前年度		
		分 担 金 及 び 負 担 金	使 用 料 及 び 手 数 料	国 庫 支 出 金	財 産 収 入	寄 附 金	繰 入 金	諸 収 入	県 債	一 般 財 源		A	- B	A/B (%)
警 察 本 部	職 員 給 与 費	24,704,539		440,537	450				14,415		24,249,137	24,309,958	394,581	101.6
	事 業 費	7,024,155		1,120,856	920,400	65,024		8,169	188,923	1,303,400	3,417,383	5,681,483	1,342,672	123.6
	① 計	31,728,694		1,561,393	920,850	65,024		8,169	203,338	1,303,400	27,666,520	29,991,441	1,737,253	105.8
県	職 員 給 与 費	168,970,487	9,518	4,218,512	20,512,736	29,212	5,446	57,681	224,273	2,503,908	141,409,201	171,510,285	△ 2,539,798	98.5
	事 業 費	489,279,513	1,828,065	3,340,015	98,910,683	771,698	160,887	15,860,325	40,733,127	44,347,492	283,327,221	472,519,715	16,759,798	103.5
	② 計	658,250,000	1,837,583	7,558,527	119,423,419	800,910	166,333	15,918,006	40,957,400	46,851,400	424,736,422	644,030,000	14,220,000	102.2

(2) 県予算額に占める警察本部予算額の構成比(①/②)

単位 %

	計	職 員 給 与 費	事 業 費
本 年 度	4.8	14.6	1.4
前 年 度	4.7	14.2	1.2

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
滋賀県退職手当基金 事業費	106,984 (-) 財 38 〇 106,946	① 1 滋賀県退職手当基金事業 106,984 警察職員の退職手当の支給に要する経費の財源を安定的に確保するため、新たに基金を設ける。
警察運営費	1,298,710 (1,216,887) 国 1,883 使 217,242 財 6,308 諸 47,738 〇 1,025,539	② 1 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,050 新型コロナウイルス感染症対策として留置場内、来庁者に対する衛生消耗品を整備する。 2 犯罪被害者等への支援強化事業 4,283 身体犯罪被害者にかかる初診料、性感染症等検査費用、再診料、診断書経費等を公費負担するとともにカウンセリング等を行うほか、犯罪被害者に対する直接支援業務を行い、被害者やその家族等への支援を強化する。
装備費	571,719 (481,187) 国 180,791 起 36,500 〇 354,428	1 警ら用自動車等の更新整備 48,220 警察活動の基盤となる警察車両の計画的な更新整備を図るため、警ら用自動車（白黒パトカー）等の更新整備を行う。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察施設費	852,503 (521,615) 財 58,678 繰 7,570 諸 1,038 起 572,000 〇 213,217	<p>長 1 交番・駐在所の新築整備 114,300</p> <p>地域防災の拠点となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい2施設を新築整備する。</p>
刑事警察費	657,820 (558,989) 国 41,255 使 34,157 繰 599 〇 581,809	<p>新 1 捜査技術高度化経費 63,035</p> <p>社会情勢の変化や悪質巧妙化する犯罪に的確に対応するため、先端技術を活用した捜査資機材の高度化を図る。</p> <p>新 2 「健康しが」安全・安心アプリ導入事業 15,664</p> <p>県民の生活スタイルに応じた必要な情報を提供するとともに、自発的な行動変容に繋げるための防犯アプリを導入し、県民全体の犯罪抑止力を向上する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>③ 3 非行・被害防止教室のオンライン化事業 4,695</p> <p>児童・生徒に対する非行・被害防止教室をオンラインで実施し、多様なニーズに応えながら安全環境の整備を図る。</p> <p>④ ④ 4 安全・安心情報の発信・広報啓発高度化事業 4,915</p> <p>犯罪被害防止やサイバーセキュリティ対策に関する総合的な情報発信・啓発動画を制作し、広く県民に伝わる情報を提供する。</p> <p>5 県民を特殊詐欺から守る安全安心コール事業 3,969</p> <p>高齢化社会や犯行ツールの高度化等、県民が被害に遭う環境が一段と増す中、ICTを活用して、効果的・効率的な対策を推進し、特殊詐欺被害の防止を図る。</p> <p>6 地域見守りカメラ設置促進事業 3,080</p> <p>自主防犯団体の構成員が減少傾向にあり防犯活動の低迷が懸念されることから、防犯カメラを無償貸し付けすることにより、防犯活動への補填効果および行政機関への設置促進の仕組みづくりを促すため、カメラの購入を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
交通指導取締費	2,614,168 (1,794,630) 国 632,458 使 250,593 諸 80,025 起 694,900 〇 956,192	<p>② ③ 1 高齢ドライバー「バイタリティ・プラス！」事業 1,118</p> <p>高齢ドライバーに対して今後の運転のあり方について提案するとともに、県民運動として社会全体で考える気運作りを進める。</p> <p>2 交通安全施設整備費 1,647,190</p> <p>(1) 交通管制センターの整備（補助） 932,420</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、交通管制センターの基幹装置のほか、路上に設置の集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。</p> <p>(2) 交通信号機の整備（補助） 155,892</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者用付加装置の設置等の信号機改良整備を行う。</p> <p>(3) ゾーン・通学路対策事業（補助） 175,444</p> <p>生活道路における歩行者等の安全対策として、区域内の最高速度を30kmに規制する「ゾーン30」を実施するとともに、通学路や未就学児等が利用する道路においては、横断歩道等の整備を中心とした道路標識標示の整備を行う。</p> <p>(4) 円滑化対策事業（補助） 38,474</p> <p>交通の円滑を図るため、信号機の新設及び改良を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>(5) 交通信号機の整備 181,406</p> <p>道路新設に伴う信号機新設のほか、信号機の移設や信号灯器の改良整備等を行う。</p> <p>(6) 道路標識・標示の整備 163,554</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び更新を行う。</p>